

まちづくりミーティング要旨

1. 団体等の名称 東海学院大学・東海学院大学短期大学部
2. 日 時 令和2年11月19日（木） 17時30分～19時00分
3. 場 所 産業文化センター4階第1学習室
4. 出席者 <参加団体>12名 <市>市長
5. テーマ ①若者に魅力的なまちづくりと情報発信
②ふるさと教育と子育て
③安全・安心して暮らせるまち各務原
④その他

テーマ①：若者に魅力的なまちづくりと情報発信

【参加者】大都市にはない各務原市の魅力や良さや活動は多くあると思うので、若者でも興味が湧く参加しやすい活動やイベントなどを開催し、自分が住む地域の良さを伝えていくことが必要だと思います。

【参加者】私は若者が戻ってくる故郷のまちづくりについて考えていきたいと思います。人を集めること、定住してもらうこと、どちらも大切だと思いますが、何を意識してまちづくりに携わっていけば良いか、視点を伺いたいです。

【市長】市では、選ばれるまちとなるよう、平成28年にシティプロモーション戦略プランを策定し、まちの「魅力づくり」と「共感づくり」の2つの方策のもと様々な事業を展開しております。その中には、河川環境楽園夏フェスやマーケット日和など若者が興味を持って参加しやすいイベントもあります。こういったイベントは、市を知ってもらうだけでなく、若い世代の方に企画・運営に携わっていただくことで、まちづくりに興味を持っていただくような、きっかけづくりをしています。

イベントの他、まちの魅力をしっかりと発信するため、市のウェブサイトとは別に移住定住ウェブサイト「OUR FAVORITE KAKAMIGAHARA」を開設しています。

また、少子化による人口減少の現状において、地域で育った子どもに地元企業の魅力を伝え、地域で就職してもらうことが重要であると考え、様々な機関と連携し、「地育地就業」に積極的に取り組んでいます。

テーマ②：ふるさと教育と子育て

【参加者】自分のまちに愛着や誇りを持てる子どもたちを育て、市民に貢献するためにはどのような事業を企画していくと良いのか、各務原市の取り組みから学びたいと思います。

【市長】市では、この地域で将来にわたって活躍できる人材を育成したい、生まれ育ったこの地域への郷土愛を育てほしいとの思いのもと平成26年に「寺子屋事業」をスタートし、企業や地域の方々のご協力を頂きながら、様々な事業を展開しており、その充実を図っているところです。

【参加者】持続可能な社会～まちづくり～を目指すために、子どもたちに社会性をもっと身に付けてほしいと考えています。また、大学生として社会性を身に付ける教育支援を行ったり、大学で学んだことを生かし、発達障害のある子どもたちへの学習支援にも携わったりすることが大切であると思います。

【市長】子どもたちへの教育支援について、行政だけではなく、地域の方や民間の方のご協力を頂くことが重要であると考えます。大学で学んでいらっしゃることをぜひ生かしていただきたいと思います。

【参加者】BOOK CHANGE という不要になった絵本や本を持ち寄り、その分欲しい本を持ち帰るという事業を通して、地域住民や子育て世代の孤立や育児疲れの解消が期待できると思います。

【市長】市では、各務原市子ども・子育て支援事業計画「子どものみらい応援プラン」のもと、地域と子育て世代がつながる様々な事業を行っていますが、BOOK CHANGE が加わることで、絵本や本を通じた新たな交流の場が創設されることは、子育て世代だけでなく、多くの地域住民を巻き込んだ事業として期待できると思います。ご提案については、今後の取り組みの参考にさせていただきます。

テーマ③：安全・安心して暮らせるまち各務原

【参加者】市民の意識が向上し、横断歩道付近での子どものヒヤリハットがなくなると良いと思います。

【市長】交通事故を防止するため、市まちづくり推進課に事務局を置く交通安全対策協議会では、警察署等と連携し、様々な啓発活動を実施しておりますが、ドライバーの方々の意識向上に向け、引き続き啓発活動に取り組んでいきたいと考えております。

【参加者】リアルタイムで不審者情報を見ることができるウェブサイトを立ち上げることで、各務原市がより安心して暮らすことができるまちに近づくとと思います。

【市長】市内で不審者が確認された場合、防災無線や各務原市「情報メール」でリアルタイムに市民の皆様へ防犯情報を発信しております。また、警察から発信される犯罪情報を集約した岐阜県警の防犯アプリがありますので、ぜひご活用ください。また、危険な目に遭った場合は、迷わず110番してください。

【参加者】バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）の応急手当を推進していくために、地域の救護力を現状に増して、さらに強化する方策や応急手当を不安感なく実施する方策等について、具体的に検討していく必要があると考えます。

【市長】市ではこの5年で4万人以上の方に救命講習を受講いただいております。応急手当の不安解消のためには、「バイスタンダーカード」というものを活用しており、救急隊が到着する前に応急手当を実施していただいた方に対して、救急隊員から感謝の言葉とともにバイスタンダーカードをお渡ししています。

テーマ③：その他

【参加者】賃金が安いB型事業所で製造するものに付加価値を付けて賃金を上げることで、働く意欲の向上と地域の方との交流にも繋げられるのではないかと思います。

【市長】付加価値を付けることが重要であると考えます。貴学の特色を生かしたアイデアで、就労継続支援B型事業所と連携し、賃金向上につながる取り組みを実施される場合には、市といたしましても相談の段階から実施に至るまで、できる限りご協力させていただきたいと考えております。

【参加者】コロナ禍におけるフレイル予防は、外出自粛の中でより重要になってきていると思います。今後も継続的なフレイル予防の取り組みを行っていただきたいと思います。

【市長】コロナ禍において高齢者の方が閉じこもりがちになっている今、フレイル予防を推進していくことは今まで以上に重要な意味を持っていると思います。今後も、高齢者の方が住み慣れた地域で、いつまでも元気に暮らしていただけるよう、地域住民の方々をはじめ、各種団体と行政が一体となり、オール各務原でフレイル予防を推進してまいります。

【参加者】各務原市が東京五輪・パラリンピックでオランダのホストタウンに登録されたことを記念し、各務原市とオランダの食文化を知ってもらう企画を提案したいです。

【市長】食文化交流につきましては、市民の皆様が本市とオランダ双方の文化に触れる大変有意義なものになろうかと考えています。より多くの方々に企画を知っていただけるよう、できる限りのご協力をさせていただきたいと思います。

【参加者まとめの言葉】市長から色々なご意見をいただき、また色々な目線からお話をいただき、これからの学生生活や社会へ出ていく私たちにとって、貴重な機会となりました。各務原市に貢献ができるよう、これからも頑張っていきたいと思います。

【市長まとめの言葉】今日は各務原市について学んでいただきましたが、これからは就職する先や、自分が住んでいるまちについて学んでいただくことも非常に大切だと思います。

皆さんのように若い方々が、自分の住んでいる地域に関心を持っていただくことが、元気で明るいまちをつくっていくと思います。ぜひ若者らしいご意見をご自分が住む自治体へ提案していただきたいと思います。